

Press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2026 年 10 月 28 日

GLP-1 受容体作動薬の適正使用に対する当社の取り組み

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社（代表取締役社長：小谷啓輔、本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、患者さんの安全を最優先に、GLP-1 受容体作動薬について、承認された効能・効果、用法・用量および使用上の注意に基づく適正使用の推進に継続的に取り組んでいます。

当社はこれまで、医薬品として承認された効能・効果、用法・用量及び学会ガイドラインに基づく適正使用の情報提供を継続的に行うだけでなく、ウェブサイト等での注意喚起に加え、2020 年より不適切な使用や誤解を招く表現を含む広告・ウェブサイト等のモニタリングを継続的に実施し、これまで 1,200 件以上の事案を当局へ報告してまいりました。また、関係企業と共同で適正使用を呼びかける共同のお知らせ（[GLP-1 受容体作動薬及び GIP/GLP-1 受容体作動薬の適正使用に関するお知らせ](#)）を継続的に発信するなど、適正使用のさらなる推進に取り組んでいます。

さらに、2026 年 6 月 16 日付で厚生労働省より発出された「GLP-1 受容体作動薬及び GIP/GLP-1 受容体作動薬の適正使用に係る対応の徹底について」、同 10 月 3 日付で一般社団法人日本肥満学会より発出された「安全な減量に関するステートメントーインクレチン関連薬を用いた減量によるケトosis関連事象の注意喚起」、および同 10 月 14 日付で厚生労働省より発出された適正使用再周知の通知を重要な指針として真摯に受け止め、医薬品卸売業各社と意見交換を行うとともに、具体的な対応策の検討を進めてまいりました。

今後は、不適正使用の実態把握を速やかに進め、その結果を踏まえ、公正取引委員会、関係省庁、学会等と連携しながら、不適正使用が確認された場合には、供給制限を含む、必要かつ適切な対応を迅速に進めてまいります。

当社は今後も、業界における適正使用推進の取り組みに協力するとともに、患者さんの安全を第一に、当社製品による治療を必要とする患者さんに医薬品を適切にお届けできるよう十分に配慮しながら、適正使用のさらなる徹底に取り組んでまいります。

ノボについて

ノボは、「Lasting Health Starts Now」を掲げるグローバルヘルスケア企業です。100 年以上にわたり、最先端の科学的知見と人々の暮らしへの深い理解を組み合わせ、何百万人もの人々が今そして将来にわたって実感でき、継続できる健康の進歩を後押しする治療やサポートを提供してきました。世界中で働く 67,000 人を超える従業員が、「drive change for lasting health」というパーパスの体現に日々取り組んでいます。また、各社とのパートナーシップ、各種プログラム、投資を通じ、疾病予防、治療へのアクセス拡大、環境負荷の低減にも取り組んでいます。これらの活動を通じてさらに多くの人々がより健やかに暮らせるよう支援しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.novonordisk.co.jp